

オレンジリボン(子ども虐待防止)啓発イベント

オレンジリボン音楽祭2023

フルートオーケストラ・コンサート



## 沖縄からのメッセージ

沖縄県糸満市「袋中園」の乳児院・児童養護施設・障害児支援施設で暮らす子ども達・職員・地域市民による交流で得られた地域における子ども虐待防止や子ども達を応援する取り組みをご紹介します。

【MC】一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク 江口義実(代表理事) 加藤孝子(専務理事)

C. マクマイケル

### 眠れる熊の伝説 LEGEND OF THE SLEEPING BEAR

米国ミシガン湖に伝わる有名な親子熊の伝説を朗読付で演奏します。

R. ロンバルド

### 南西部のスケッチ SOUTHWESTERN SKETCHES

米国アリゾナ州の「ツーソン・フルート・クラブ」が設立50周年を記念して書かれた作品。日本では「フルートアンサンブルで社会貢献」による演奏が唯一許されています。各楽章からのメッセージを皆様と共有していきたい名作です。

他

①・②とも同じ内容となります

2023年12月9日(日) ①11:00~ ②14:00~

於:横浜市宮崎地域ケアプラザ(横浜市西区宮崎町2番地)

【予約申込: ☎ 045-261-6095(担当:地域活動交流)】

【主催】一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

【共催】横浜市宮崎地域ケアプラザ / 認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク



オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

## 地域ケアプラザ メッセージ or お誘いメッセージ

会場の地図

児童虐待通報件数は年々増加し、命の危険と隣り合わせになっている子ども達を見過ごすわけにはいかない深刻な事態となっております。

児童虐待通報と言えば「ダイヤル189」が日本全国に認知され、児童虐待防止対策が確立されたように思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、弊団は、児童虐待がまだまだ「他人事」と捉えられている現状に目を向ける必要があると考えております。

メディアで児童虐待の報道がなされると、インターネット上のSNSなどでは虐待をした親やその対応をしてきた児童相談所への誹謗中傷コメントが数多く発信されます。確かに虐待をした親は許し難く、児童相談所の判断や行動も結果として誤りがあったのかもしれませんが、しかし、見方を変えれば、我々大人達は、そのようなコメントを発信することで、「悪人」と「善人」という境界線を引いているとも言えます。つまり、我々大人達は「悪人」を作り上げること、ひいては自分が「善人」という立場である、という線引きをすることで満足し、虐待を「他人事」とし、結局のところ「無関心」になっているのではないのでしょうか？

このような事態を、虐待に遭っていた子ども達はどのように感じるでしょう？

「どうして誰も助けてくれなかったの？」と思っているのではないのでしょうか？子ども達にとっては、そのような大人達の立場の違いはどのようにでもよく、自分達を助けてくれなかった大人達全員を「悪人」として捉えているかもしれません。

弊団は、今一度、児童虐待防止についてできること、虐待に遭い児童養護施設で暮らしている子ども達について応援できることを、大人の一人一人が考え、地域で取り組んでいく必要があると考えております。本イベントが、その課題を地域で考えるきっかけとなる事を願ってやみません。



一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
代表理事 江口義実  
専務理事 加藤孝子

## みんなで見ませんか？(動画でオレンジリボン運動)

### 【音楽朗読劇「もしも、あの時」】

原作:たにひろこ(絵)&加藤孝子  
脚本・演出:加藤孝子

「子育てに嫌気を刺した女性が出会ったのは...」

<https://www.youtube.com/watch?v=jxQnwONQdgl&t=41s>

動画URL



### 【音楽朗読劇「かーくん」】

原作:たにひろこ(絵本「かーくん」)  
脚本・演出:加藤孝子

「児童養護施設で暮らすかーくんは悪い子？」

<https://www.youtube.com/watch?v=sEa3bT59wk8>

動画URL

